

出題 蜚雪ゼミナール

則武校・船橋巧



全科目を指導しています。英語の学習を通じて、全科目に通じる勉強法を紹介します！

問題【英語】

今回は、「比較」とよばれる文法事項を見ていきます。次の(1)と(2)を、意味の違いがはっきりと分かるように訳し分けてください。

- (1) Tom knows about Ken better than I.
(2) Tom knows about Ken better than me.

豆知識 雑学コラム

比較対象を明確に

まずは日本語での比較から考えてみましょう。次の文は、通常どのように解釈するでしょう？

(a) アメリカは日本より広いです。

この文をあえて数式のように書くと「アメリカの広さ>日本の広さ」ですね。では、次の文ではどうでしょう？

(b) トムは私よりケンのことをよく知っています。

この文は、「ケンについて『トムの知っている量>私の知っている量』」と解釈する人もいれば、「トムが『ケンのことを知っている量>私のことを知っている量』」と解釈する人もいます。そこで、(b)の文を次のように書き換えてみましょう。

(c) トムは私のことよりケンのことをよく知っています。

このようにすると、「トムが『ケンのことを知っている量>私のことを知っている量』」の方にしか解釈できなくなりました。日本語では名詞の格変化がないため、助詞や適切な語句を用いることで、比較対象を明確にしています。

英語では代名詞の格変化があるので、これを用いることで比較対象を明確にすることができます。(1)ではTomとIを、(2)ではKenとmeを比べており、それ以外の解釈は許されません。この比較対象をどのように見分けるかには、一定の手順があります。

- ① as ~ as ...なら2つ目のasの後ろ、~er than ...ならthanの後ろの語をチェック
② その語と置きかえられる場所(=文法的に同じ場所)を前から探す
⇒ 見つかった場所と比較している！

①: 今回は~er than ...の形なので、thanの後ろをチェック。(1)ではI(主格)、(2)ではme(目的格)になっていますね。

②: (1)では、I know about Ken.とTomの部分がIに、(2)ではTom knows about me.とKenの部分がmeに置きかえられます。なので、(1)ではTomとIを、(2)ではKenとmeを比べているとわかるのです。

雰囲気や文脈で決めてしまいがちな比較の対象にも、文法面でしっかりとしたルールがあります。ケイセツの高校部では、他にも大事なルールを伝えているので、定期テストも、大学受験もお任せ下さい！

【解答】

0212

(1) 私よりもケンのことをよく知っている。 (2) トムは、私よりもケンのことをよく知っている。 0212